

羽衣の滝 (北海道てんにんきょう上川郡東川町天人峡)



写真 天人峡の溪流・溪谷

羽衣の滝(表紙写真)は、天人峡(写真)の一角に位置する、道内最大約270mの落差を誇る日本屈指の名瀑である。忠別川(写真)の支流アイシポップ沢と双見沢からの流れが7段に屈折しながら落下し、滝の途中で2つの沢が合流している。水の流れと景観の素晴らしさが天女の羽衣を思わせることから、大町桂月おおまちけいげつ※1)により命名されたと言われている。1951年に北海道指定名勝として文化財に指定、1991年に「日本の滝百選」に選定された。

天人峡は、大雪山国立公園の南東の山麓、忠別岳から流れる忠別川の上流にある峡谷である。約3万年前に起きた巨大噴火と、その後の長い年月をかけた浸食によって形成された柱状節理ちゅうじょうせつり※2)の断崖絶壁が、峡谷のシンボルとなっている。

10月初旬の頃、岩場の隙間から映える赤や黄に染まった紅葉と、雄々しい岩場のコントラストは、訪れる人々を魅了する。柱状節理と紅葉の競演をカメラに収めようと、多くの写真愛好家が訪れる。

※1) 高知県出身の詩人、歌人。北海道各地を旅行し、その魅力を紀行文で紹介。層雲峡や羽衣の滝の名付け親でもある。

※2) 節理と呼ばれる両側にずれの見られない規則性のある割れ目を持つ地質構造。

<参考>

北海道公式観光サイト

<https://www.visit-hokkaido.jp/index.html>

ようこそ東川

<http://www.welcome-higashikawa.jp/>

(表紙の写真)

羽衣の滝

場所：北海道上川郡東川町



■アクセス:

- 旭川空港から車で約45分
- 道央道旭川北ICから約70分